

学年・教材名		指導事項・言語活動例	知識及び技能								思考力、判断力、表現力等														
											読むこと														
			言葉の特徴や使い方								指導事項												言語活動例		
			低	低	中	高	低	中	高	高	低	中	高	低	中	高	低	中	高	低	中	高			
			ウ		オ		ク		ケ		イ		エ		オ		カ		キ		ク				
			「長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「を」「に」「へ」「から」「まで」「が」「を」の使い方、文や文章の中で使うこと。片仮名で書かれた、平仮名の使用、文や文章の中で使うこと。」	「身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこと。言葉には意味による語句の、話や文章の中で使うこと。」	「様子や行動、気持ちや生活を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこと。文章の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。」	「対し、語句の量を増し、話や文章の中で使うこと。語句の量を増し、話や文章の中で使うこと。」	「と。文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。」	「文章を音読したり朗読したりすること。」	「場面。様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。」	「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。」	「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。」	「場面。様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。」	「登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。」	「人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えてたりすること。」	「文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。」	「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。」	「文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。」	「文章の感じ方などに違いがあることに気付くこと。」	「文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。」	「読み聞かせを聞いたり、物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったりする活動。」	「詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。」	「詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などに、ついでに考えたことを伝え合ったりする活動。」			
1年	「お話を読む「やくそく」					○				◎			○								☆				
	「思い浮かべながら読む「くじらぐも」	○					○				○			◎							☆				
	「好きなところを探して読む「ためきの 糸車」						○				○			◎							☆				
	「読んで感じたことを話す「ずうっと、ずっと、大すきだよ」		○										○					◎			☆				
2年	「お話を確かめる「ふきのとう」					◎				◎											☆				
	「あらすじをまとめる「スイミー」		○									◎									☆				
	「人物がしたことや様子を思い浮かべる「お手紙」						◎					◎					○				☆				
	「人物と自分を比べて読む「わたしはおねえさん」		○									○			◎						☆				
	「読んで、感じたことを伝え合う「スーホの白い馬」		○									○					◎				☆				
3年	「場面の様子や、登場人物の気持ちを想像する「きつつきの商売」						○				◎											☆			
	「登場人物の変化に気をつけて読む「まいごのかぎ」			◎							○			◎								☆			
	「物語に対する感想をもつ「ちいちゃんのかげおくり」			○									○			◎			○			☆			
	「組み立てを捉える「三年とうげ」			○							○			◎								☆			
	「登場人物の性格を捉える「モチモチの木」			○									◎			○		◎				☆			
4年	「場面と場面のつながりを考える「白いぼうし」						○				◎					○						☆			
	「特別な言葉に着目する「一つの花」			○							○			◎			○					☆			
	「話し合っ、考えを深める「ごんぎつね」			○									○			○			◎			☆			
	「登場人物の変化と、出来事の間を捉える「プラタナスの木」			○							○			◎								☆			
	「感じ方の違いを楽しむ「初雪のふる日」			○									○			◎		◎				☆			
5年	「登場人物どうしの間わりを読む「なまえつけてよ」				○						◎			○											
	「物語の全体像から考えたことを伝え合う「たずねびと」				○									◎			○			◎					
	「伝記を読む「やなせたかし ―アン・パンマンの勇気」				○						○					◎		○				☆			
	「優れた表現に着目する「大造じいさんとガン」							○			○			◎			○		◎				☆		
6年	「視点の違いに着目して、人物像を捉える「帰り道」							○			◎			○											
	「作品の世界を捉える「やまなし」						○							○			◎								
	「物語の読みを広げる「海の命」				○									○			○		◎				☆		